

# サンプスギ

- サンプスギは、山武地方で古くから育てられてきた、さし木スギの一品種である。
- 幹が通直（まっすぐ）、完満（太さが一定）という、木材として優秀な性質を持っており、千葉県のブランド材となっている。
- 県内のサンプスギ林面積は 9,180ha であり、スギ林全体の 24% を占めている。
- サンプスギの比率が最も高いのは山武地域で、87% を占めている（平成 29 年度森林課調査）。
- 非赤枯性溝腐病に罹りやすいという弱点を持っている。



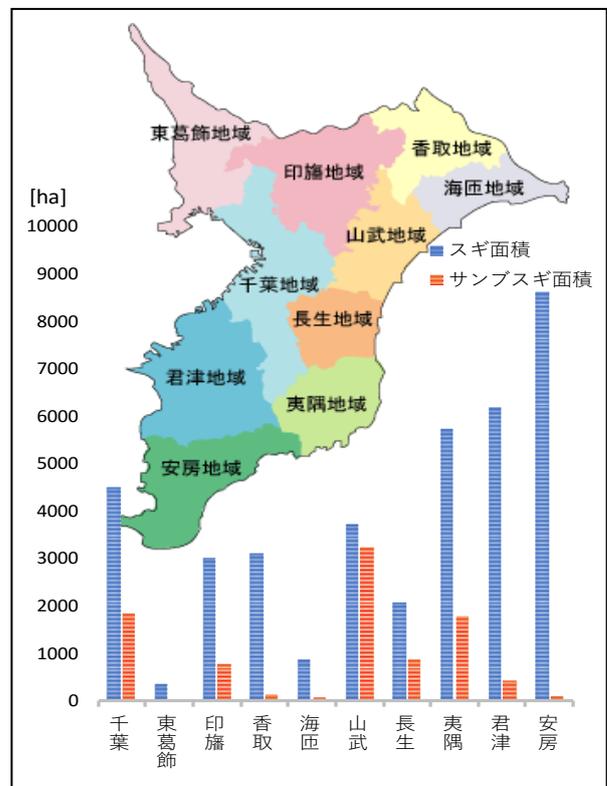
成長がそろったサンプスギ林



サンプスギの葉（握ると痛い）



材は通直、完満で、  
枝は細く自然落枝しやすい



地域別のスギ面積とサンプスギ面積 (内数)

## サンプスギの特徴

区分	特徴
繁殖方法	さし木による（発根性が良い）
成長	早生型（初期成長が良い）
材の性質	通直、完満であり、断面は正円に近い
材色	淡紅色で美しい
枝の性質	細く枯れ上がりが早く自然落枝しやすい
針葉の形	先端が鋭く握ると痛い
スギ花粉	花粉が非常に少ない